

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 北九州市 |
| (2) 事業所名 | 北九州市立 吉野保育所 |
| (3) 所在地 | 北九州市門司区丸山一丁目19-1 |
| (3) 電話番号 | 093-321-5208 |

2 評価実施日

平成16年 10月27日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育所は門司港地区の高台にあり、風師山を間近に展望できる閑静な住宅地にあります。

保育室が広く、ゆったりした空間の中で保育が展開されています。各クラスでは畳やおもちゃ棚等が活用され、その日の遊びが次の日にも継続出来るようなコーナーが確保されています。また、自然物を利用した季節感のある環境が整えられ、冬眠している虫や球根にも温かい配慮が見られます。

平成15年度より、園庭の花壇や畑が「吉野ファーム」と名付けられ、季節の草花や野菜が栽培され、自然の恵みや命の大切さを伝える保育が実践されています。近隣の方々も関心を寄せ、日常の温かい交流のきっかけにもなっています。野菜の成長や子どもたちの活動の様子の写真、イラスト、実物の種の展示など、見る人にわかりやすく興味・関心が高まるような工夫もなされており、高く評価できます。

地域の文化や特性を活かし、レトロ地区や商店街への散歩、地域行事への参加など、社会体験の機会が積極的に設けられています。このような園外保育コースの「ふれあいマップ」が作成・展示され、園児や保護者、来訪者に取り組みの状況がわかりやすく伝えられています。

健康管理については日々登所時に視診を行い、配慮が必要な子どもの健康状態については視診簿と体調不良児個別表に記録され、一人一人の健康状態が全職員に適切に把握されています。嘱託医との連携も密に図られ、必要に応じて指導・助言を受けています。また、関係機関からの情報をもとに「保健ニュース」が随時発行されており、きめ細かな健康管理への啓発が行われていることは高く評価できます。

給食については年1回全世帯を対象に給食試食会が行われるとともに、「給食だより」や「子どもの食事アドバイス」(月1回)が発行され、食に関する情報提供や啓発が行われています。保護者からも「給食メールボックス」で簡単レシピなどの情報を提供してもらい、食に関する相互の連携が図られ、評価できます。

子育て支援については全職員が保護者とのコミュニケーションを心がけ、個人ノートやクラスノートで子どもの様子や保育所の取り組みなどにについて充実した内容がわかりやすく、情報提供されています。

評価対象ごとの評価（概要）

評価対象	評価結果
<p>子どもの発達援助 一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p>	<p>公立保育所の保育計画に基づき、地域の実態や保護者の意向などが考慮された保育所独自の計画が作成されています。この計画のもと、個別の発達状態や生活リズムに配慮された保育が行われています。今年度は「(相手の気持ちを考えて)こころの声を聴く」という重点目標が設定され、保護者との連携を図りながら保育が展開されています。</p> <p>配慮が必要な子どもについては関係機関との連携のもと、子どもや保護者への援助などが検討され、個別ファイルに記録されています。</p> <p>園庭の花壇や畑が「吉野ファーム」と名付けられ、自然の恵みや命の大切さを伝える保育が実践されています。また、野菜の生長や子どもたちの活動の様子の写真、イラスト、実物の種の展示など、見る人にわかりやすく興味・関心が高まるような工夫がなされており評価できます。</p> <p>レトロ地区や栄町商店街など、園外保育コースの「ふれあいマップ」が作成・展示され、園児や保護者、来訪者に取り組みの状況がわかりやすく伝えられています。</p> <p>各保育室や遊戯室が広くゆとりのある空間に、畳やおもちゃ棚等が活用され、遊びが継続出来るようなコーナーが確保されています。</p> <p>乳児保育においては畳のコーナーが設けられ、場面に応じて空間を分けるなど、落ち着いた保育環境づくりの工夫がなされています。また、子どもの意思を尊重して特定の保育士が関わるなど柔軟な担当制への工夫がなされており、一人一人の子どもに温かい言葉かけをするなどきめ細かな受容と応答が行われています。</p> <p>健康管理や感染症への対応についてはマニュアルが整備され、子どもや保護者への適切な対応や情報提供が行われています。配慮が必要な子どもの健康状態については体調不良児個別表に記録され、一人一人の身体状況が適切に把握されています。健康診断では保護者から事前に質問、相談を受けるなど嘱託医との連携が密に図られています。</p> <p>「食」に関する年齢別年間計画や、園芸・クッキング指導計画が作成され、栽培した野菜を利用してクッキングをするなど、子どもの「食」への関心が高められています。毎年1回の給食試食会、「給食だより」や「子どもの食事アドバイス」の発行、「給食メールボックス」での保護者との連携など、食育への積極的な取り組みは評価できます。</p> <p>アレルギー疾患の子どもについては医師からの診断書をもとに四者協議(所長、担任、保護者、調理員)を持ち除去食が提供されています。</p> <p>障害児保育については専門機関との連携のもと、個別の指導計画を作成し実践に生かされており、個別の連絡ノートで保護者との連携がなされており、加配保育士と担任が協力しながら適切な援助がなされています。また、障害児やその保護者の心情や意向を踏まえた上で情報提供や啓発が行われ、保育所全体での共通理解が深められています。</p>

<p>子育て支援</p> <p>子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p>	<p>保護者への情報伝達は3歳未満児は個別連絡ノート、3歳以上児はクラス連絡ノートが用いられると共に、登降所時に一人一人の保護者との会話が大切にされています。子どもに関する必要な情報は「連携ノート」を通して全職員に周知され、共通理解のもと保育が行われています。</p> <p>児童虐待については区役所保健福祉課や民生・児童委員との連携のもと、適切な対応ができるような体制が整えられています。</p> <p>地域への子育て支援として年に3～5回保育所が開放され、焼き芋パーティーや様々な遊びを通して入所児との交流が行われています。また、育児相談も実施されていますが相談件数が少ないので、地域住民への周知の方法が工夫されるとさらに良いと思われます。</p>
<p>地域住民や関係機関等との連携</p> <p>地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p>	<p>関係機関からの情報は、ポスターの掲示やチラシ等の配布の他、保護者が持ち帰りやすいように設置されています。特に健康に関する情報は「保健ニュース」として編集し、随時発行されています。</p> <p>保育所だよりは分かりやすく読みやすいような工夫がなされていますが、保護者の興味や関心が深まるよう内容がさらに充実されると、より良いものになると思われます。</p> <p>校区の敬老会や地域の清掃への参加、小学校との定期的な交流、近隣保育所と合同の小学校体験入学や宿泊保育、門司中学校・門司高校の文化祭への参加などを通して幅広い世代の人との交流が図られています。</p> <p>門司図書館とは「クレヨンの会(ボランティアサークル)」への支援や、図書・紙芝居の貸し出し利用などを通して連携が図られています。</p> <p>近隣住民に対しては、園庭で収穫された野菜を配ったり、行事などについての協力や理解を得るために戸別訪問するなど、良い関係を築くための取り組みが行われており、評価できます。</p> <p>実習生やボランティア受入れについては、次世代育成という観点から熱心な取り組みがなされており、高く評価できます。</p>
<p>運営管理</p> <p>保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p>	<p>保育所の保育理念、基本方針が明文化され職員に周知されています。各クラスに分かりやすい言葉で年間の保育目標が掲示され、保護者との共通理解を図る工夫がなされています。</p> <p>臨時・嘱託を含む全ての職員から出された課題や提案は、職員会議で検討され共通理解のもと保育の改善や向上に活かされており、評価できます。</p> <p>守秘義務の遵守については全職員に周知が図られ、実習生などにもきめ細かな指導が行われています。</p> <p>事故や災害に関するマニュアルが整備されるとともに実地訓練が行われています。訓練後は反省をもとに避難場所や避難経路の検討が行われ、改善への取り組みがなされています。給食室やトイレなどはチェックリストに基づき、適切に衛生管理されています。</p>